

【的中問題！】一部ご紹介致します！

大原：公開模擬試験－第20問

基準サイクルタイムが0.5分/個に設定されている加工機械について、420分の稼働時間に対する設備データを収集したところ下表が得られた。この機械の時間稼働率、性能稼働率、適合品率（良品率）に近い値の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。解答は問20へマークせよ。

設備データの内容	値
停止時間	80分
加工数量	420個
不適合品数（不良品数）	21個

〔解答群〕

- ア 時間稼働率：40％ 性能稼働率：84％ 適合品率：95％
イ 時間稼働率：84％ 性能稼働率：42％ 適合品率：5％
ウ 時間稼働率：81％ 性能稼働率：50％ 適合品率：84％
エ 時間稼働率：84％ 性能稼働率：50％ 適合品率：95％

本試験：第18問

ある設備について、1,000時間の負荷時間内での設備データを収集したところ下表が得られた。

基準サイクルタイム	5分／個
稼働時間	800時間
加工数量(不適合品を含む)	6,720個
不適合品率	20％

以下の改善施策を、期待される設備総合効率の高い順に並べたものとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。ただし、負荷時間は同じで、その他の条件も変わらないものとする。

- a 不適合の原因を検討して、不適合品率を20％から15％にする。
b 速度低下の原因を改善して、加工数量を6,720個から7,680個にする。
c 段取作業を改善して、停止時間を半減させ、稼働時間を800時間から900時間にする。

〔解答群〕

- ア a－b－c
イ b－a－c
ウ b－c－a
エ c－a－b
オ c－b－a

大原：公開模擬試験－第44問

あるスーパーマーケットの一定期間におけるID-POSデータを用いて、200人のある顧客セグメントに対するマーケットバスケット分析を行ったところ、商品Aと商品Bの購買に関して、下表のような結果が得られた。商品A⇒商品Bのサポートの値として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。なお、商品Aを買うとき商品Bも買う場合、「商品A⇒商品B」と表す。解答は問44へマークせよ。

購買した商品群	購買した顧客数
商品A	40
商品B	80
商品Aかつ商品B	20

〔解答群〕

- ア 0.10
イ 0.40
ウ 0.50
エ 1.00
オ 1.25

本試験：第39問

ある小売店の一定期間におけるPOSシステムから得られた1,000件のレシートデータを分析する。このとき、商品aと商品bの購買パターンについて、下表のような結果が得られたとする。下記の設問に答えよ。

購買した商品	レシート件数
商品aのみ	350件
商品bのみ	50件
商品aと商品bの両方	250件

〔設問1〕

商品aと商品bの購買パターンについての評価指標に関する記述として、最も適切なものはどれか。

- ア 商品aからみた商品bの信頼度(コンフィデンス)は、 $\frac{5}{9}$ である。
イ 商品aと商品bを併買したパターンの支持度(サポート)は、0.25である。
ウ 商品aを購買したパターンの支持度(サポート)は、0.45である。
エ 商品bからみた商品aの信頼度(コンフィデンス)は、 $\frac{5}{7}$ である。
オ 商品bを購買したパターンの支持度(サポート)は、0.35である。

① 運営管理(オペレーション・マネジメント)

【総評】

令和4年度の本試験は、運営管理44問（昨年44問）のうち、22問が生産管理（昨年22問）、22問が店舗・販売管理（昨年22問）であり、例年どおり偏りのない出題内容であった。また、5肢択一の問題が生産管理18問（昨年10問）、店舗・販売管理19問（昨年18問）であり、昨年と比べ大幅に増加した。さらに、計算関連の問題が10問（生産管理7問、店舗・販売管理3問）出題されており、その他にも、その場で内容を把握して解答を導かなければならない問題も比較的多かったため、解答を見直す時間が不足した方も多かったと思われる。

しかし、生産管理、店舗・販売管理いずれも過去に同様の出題がされた問題も多かったため、全体としては標準レベルの難易度であったと思われる。したがって、基本事項に関する問題を確実に正解できたかどうかで得点が左右されると思われる。

（生産管理）

第1問から第21問までの生産管理では、頻出論点である作業管理、工程管理は、例年どおり出題された。個別には、第4問（生産方式）、第10問（発注方式）、第11問（QC7つ道具・新QC7つ道具）、第17問（保全活動）などで得点を取りたいところである。また、計算関連の問題（第2問の設問1及び2、第5問、第7問、第8問、第16問、第18問）は、単なる知識だけでなく、その知識を具体的な事例に当てはめて捉え、試験時間内で問題要求を把握しなければならない問題も多く、全ての問題に十分に対応することは難しかったと思われる。

（店舗・販売管理）

第22問から第41問までの店舗・販売管理では、頻出論点である物流管理、流通情報システムは、例年どおり出題された。しかし、昨年同様、これまで頻出していたGMROIや商品回転率、値入率などの商品予算計画に関する計算問題が出題されなかったことは特徴的である。個別には、第23問（中心市街地活性化法）、第30問（小売業の価格政策）、第31問（小売店舗の在庫管理）、第37問（商品コード（GTIN））などで得点を取りたいところである。

以上